

Science誌におけるAI使用ガイドライン（日本語訳）

使用カテゴリ	使用サブカテゴリ	許可されるか？	詳細
研究の実施	コードの作成	条件付きで可	方法（Methods）セクションで、モデル名とバージョン番号を明記する必要あり
	データの生成または解析	条件付きで可	方法（Methods）セクションで、モデル名とバージョン番号を明記する必要あり
	文献検索	可	申告不要
原稿の作成	言語の明確化のための修正、訂正、編集、フォーマット調整	可	申告不要
	原稿内容の執筆または草稿作成	条件付きで可	謝辞（Acknowledgments）セクションで、モデル名とバージョン番号を明記する必要あり
	原稿テキストの翻訳	条件付きで可	謝辞（Acknowledgments）セクションで、モデル名とバージョン番号を明記する必要あり
	原稿内で報告されるデータのフォーマット調整	可	申告不要
	説明目的のためだけに、画像、図、その他の図を生成、修正、編集、フォーマット調整すること	不可	原則不可。特別な事情がある場合は編集者に要相談
査読	研究データまたは結果の可視化の編集またはフォーマット調整	条件付きで可	謝辞（Acknowledgments）セクションで、モデル名とバージョン番号を明記する必要あり
	コードの修正やフォーマット調整	可	申告不要
	参考文献収集の補助	可	申告不要
	AI生成コンテンツをあたかも非AI由来のオリジナル研究であるかのように提示すること	不可	不可
査読への回答	原稿の全部または一部をLLMやその他AIツールに入力し、査読を生成または補強すること	不可	不可
	査読コメントの言語的な修正や改訂	条件付きで可	システムが入力内容を保存したりモデル学習に使用しない場合のみ可。ツール名と使用方法を査読内で明記する必要あり
	査読コメントの全部または一部をLLMやその他AIツールに入力し、回答を生成または補強すること	不可	不可
原稿の改訂	回答文の言語的な修正や改訂	条件付きで可	システムが入力内容を保存したりモデル学習に使用しない場合のみ可。ツール名と使用方法を回答内で明記する必要あり
	原稿の全部または一部をLLMやその他AIツールに入力すること	不可	不可
編集部での利用	機密性を保持できる方法でAIツールを使用すること（例：非オープンLLM）	条件付きで可	ツール名と使用方法をジャーナルのウェブサイトで公表する必要あり